

科目名	建設環境工学演習Ⅲ Practice in Civil engineering Ⅲ			担当教員	全教員 (窓口教員：宮崎 耕輔)		
学 年	5 年	学 期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義，演習	科目番号	17134038	単位区分	履修単位
学習目標	RC 構造の演習課題として，断面計算に先立ちコンクリートの配合計算に復習を行ってから T 形断面の応力算定，偏心荷重を受ける柱の耐力の算定方法を習得する。 土木構造物の維持管理の目的を理解し，RC 構造物の劣化要因と補修・補強方法について説明できる。						
進め方	主として配付プリントと教科書を用いて授業を進めていく。講義と演習を組み合わせた形式で実施する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. RC 構造の演習(14) (1) コンクリートの配合計算 (2) T 形断面の曲げ応力度と曲げ耐力の算定 (3) 偏心荷重を受ける柱の断面耐力の算定			・ コンクリートの示方配合，現場配合の計算ができる。 ・ T 形 RC 断面および偏心荷重を受ける柱の応力度と曲げ耐力を算定することができる。 学習・教育目標：(C-1)，(C-2)			
	[後期中間試験] (2)						
	2. 土木構造物の維持管理(14) (1) RC 構造物の維持管理の目的と劣化要因 (2) RC 構造物の補修・補強方法			・ 土木構造物の維持管理の基礎的事項として，維持管理の目的を説明することができ，RC 構造物の劣化要因と補修・補強方法について説明できる。 学習・教育目標：(C-1)，(C-2)			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	・ 評価の内訳は，2 回の定期試験を 80（％），演習課題への取り組みとその内容を 20（％）とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	建設材料学（3 年），建設環境工学演習Ⅰ（3 年）→建設構造設計学(4 年)→建設環境工学演習Ⅲ(5 年)						
教 材	配付プリント						
備 考	再試験を実施する。						